

B 利用者負担軽減助成 事業計画書

【団体名】
フリースペースはちどり

申請事業名 (利用者負担軽減をする事業) (事業内容がわかるようにつけてください) (35文字以内)	不登校のこどもの居場所 事業
助成希望金額(円) (事業予算書と一致)	126,000

本事業の背景や事業を実施する理由	利用者が利用する事業（サービス）の目的とその事業を実施する理由について書いてください。 例) 5年前に不登校の子を持つ親たちが集まって、子どもたちの居場所を開設した。次第に利用者が増えてきたので、3年前に団体になり、助成金をもらいながら活動を続けている。		
利用者負担を軽減する事業の内容	利用者が利用する事業（サービス）の具体的な内容を記載してください。 例) 不登校の子ども達が、興味をもったこと、好きなことができるようにサポートしている。スタッフ3人と学生ボランティア3~5人で運営、週3回開設し、一日あたり5~10人が参加している。決まったプログラムはなく、ゲームをしたり、クッキングをしたりしている。 利用料は、1人月額3,000円または1日500円をもらっている。		
上記事業の実施日・実施回数等	例) 毎週 月・水・金 10:00~16:00		
上記事業の実施場所	例) ○○公民館 (住所: ○○市○○町1-3)		
上記事業の対象者	例) 不登校の子ども 7歳~18歳	人数	例) 10~15人
上記対象者のうち、利用者負担を軽減する条件 (すべてご記入ください)	例) ・ひとり親家庭の子どもの 利用料 (月額) を半額 ・経済的困窮家庭 (多子世帯等) の 子どもの利用料 (月額) を無料	左記対象の人数	例) 3人~5人
期待できる効果など (困難を抱える子どもや若者、子育て家庭に対するこの事業の効果などを書いてください)	例) 誰でも利用できる居場所にしたいが、場所代や材料代がかかるので、無料にはできない面がある。今まで、経済的な事情がある家庭の子どもを毎回誘うことが難しかったが、利用料の負担を軽減することで、月の登録にすることができ、安心して来てもらうことができる。 負担軽減により居場所の利用が増えることで、公的な支援や寄付等の必要性が伝わることも期待できる。全員が無料で利用できるようにしていきたい。		

B 利用者負担軽減助成 事業予算書

【団体名】 フリースペースはちどり

区 分		予算額(円)				内訳、内容及び算出根拠など	
軽減前の金額合計 (円)		180,000				計算根拠の (1) × (2) × (4) の合計	
軽減する金額合計 (円)		126,000					
助成希望額 (円) (S)		126,000				←20 万を超える場合は 20 万円	
計算根拠	軽減する対象者の条件 (利用者負担を軽減する理由を書いてください)	(1) 人	(2) 正規単価 (円)	(3) 軽減率 (1.0 以下)	(4) 回数	軽減金額 (1) × (2) × (3) × (4)	内容・根拠 * (2) の金額の根拠など
	月額登録者のひとり親家庭	3	3,000	0.5	12	54,000	リーフレット参照
	月額登録者の経済的困窮家庭	2	3,000	1	12	72,000	

* (2) の単価は、軽減するものが交通費等の場合は、1 回あたりの交通費額を記入する。

(3) 軽減率は全額無料の場合を 1 とする。

合計 (S) **126,000**

* この様式に当てはまらない場合は、事務局にご相談ください、